

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	伊藤 進（株式会社きんでん） 松本 祥孝（関西職業能力開発促進センター）
実施期間	2024年2月5日（月）～ 2月9日（金）
実施場所	カンボジア王国 プノンペン市 カンボジア国立ポリテク大学 (NPIC)
研修	競技課題採点・評価方法セミナー (AMM)
実施職種	情報ネットワーク施工

2024年3月

結果概要

1. 対象者数：受講者数 7名 / 修了者数 7名

2. 日程

日時	指導内容
2月5日(月) 8:30~16:30 (全て現地時間)	① 開講式 ② 競技課題の説明 ③ 新光課題の実施および評価
2月6日(火) 8:30~16:30	① 評価基準の作成手順について ② カンボジア独自の評価基準の作成(光課題・メタル課題)
2月7日(水) 8:30~16:30	① カンボジア独自の評価基準の作成(光課題・メタル課題) ② 模擬競技の準備 ・ 競技ブースの設営 ・ 部材チェック ・ 使用工具チェック ・ 課題シート ・ 評価シート ・ 競技中の採点(安全作業等)
2月8日(木) 8:30~16:30	<模擬競技> ・ 受付 ・ 準備作業 ・ 光課題(120分) ・ 光課題の評価 ・ メタルスピード(20分) ・ 評価
2月9日(金) 8:30~16:30	<模擬競技> ・ メタル課題(120分) ・ メタル課題の評価 閉講式

3. 講評

<伊藤講師>

現地研修では7名の受講者にオブザーバー1名を加え8名であったが、昨年度より情報ネットワーク施工職種の競技運営や評価方法を習得し競技会実施に向け、大きく前進している。受講者の熱心な取り組みによって、施工能力が向上し施工表が作成できるようになり、評価についてもできるようになっており、今後に期待ができる。今後は自国で運営するためには、現地の材料や工具を使用しての模擬競技の実施が必要となる。また、受講者は競技するための競技者の育成についても考える必要がある。

<松本講師>

本年度は、光課題においてより難易度の高い日本の技能五輪全国大会に類似した課題（19 インチラック、光パッチパネル等を使用）に取り組んだ。本研修の模擬競技を通じて、参加したカンボジアの指導員7名の施工能力は1年前と比べ格段に向上した。また、各種施工に対する評価技術は、カンボジア独自の採点基準および採点シートを彼らで作成することができ、かつ、適切な評価ができるまで向上した。まだまだ未熟な点もあるが当該職種にかかる施工技術・評価技術は、ともに想定以上の水準を満たしており、2023年度の投入量に対して十分に満足の結果を得れたと感じている。今後も SESPP 事業として継続支援することにより、更なる技術力向上ならびに技術定着・普及の効果が得られると思料する。

4. アンケート結果

◆受講者7名（回答者7名）（※5段階評価）

満足度： 5：大変満足＝7人
役立ち度： 5：大変役立つ＝7人
継続期待度： 5：是非とも継続すべき＝5人 4：継続すべき＝2人
習得度： 5：大変そう思う＝4人 4：そう思う＝3人

【改善点・提案】

- ・情報ネットワーク施工の新しい備品の提供をお願いしたい。
- ・ご指導いただき感謝している。
- ・より多くの経験を積むためにまたトレーニングしたい。
- ・いい研修なので、特になし。

【意見・感想・実施希望】

- ・メカトロニクス（自動車用ロボット）
- ・ネットワーク・コンフィギュレーション
- ・PLC システム
- ・配線システム
- ・産業用制御システム
- ・スマートホームシステム
- ・配管

◆現地責任者1名（回答者1名）（※5段階評価）

継続期待度： 4：継続すべき＝1人

【改善点・提案】

- ・より上のレベルを希望する。

【意見・感想・実施希望】

- ・特になし。とてもいい研修で、カンボジアの指導員たちに必要とされる、適した内容になっている。